

狂言 (万作の会) ゆとろぎ特別公演

万作・萬斎きたる!

人間国宝 野村万作



野村萬斎



撮影 政川慎治

平成23年

3月1日(火)

18:00開場 18:30開演

羽村市生涯学習センター ゆとろぎ 大ホール

〔主な出演者〕 野村万作・野村萬斎・石田幸雄 他 万作の会
〔番組〕 舟渡聲・蝸牛

主催:羽村市教育委員会 企画運営:ゆとろぎ協働市民の会

狂言「舟渡聲」



※実際の配役とは異なります。

撮影 神田佳明

〔番組〕

解説

野村萬齋

狂言

舟渡 聶

船頭・舅

野村万作

聶

竹山悠樹

姑

石田幸雄

後見

岡 聡史

休憩二十分

狂言

蝸牛

山伏

野村萬齋

主

月崎晴夫

太郎冠者

高野和憲

後見

中村修一

舟渡 聶 (ふなわたしむこ)

聶が初めて妻の実家に挨拶に行く途中、渡し舟に乗る。酒好きの船頭は、聶の持つ土産の酒に目をつけ、舟を漕ぐのをやめたり、激しく揺らせたりして脅すように酒を飲んでしまう。舟を下りた聶は舅の家へ向かい、姑に歓待される。外出していた舅もやがて帰宅するが、聶の顔を見てびっくり仰天。舅こそ先ほどの船頭だったのだ。舅は様を変え、顔を隠して対面するのだが…。

舟に乗っている様子を棹一本で表現する技、三人三様の人物と、狂言の醍醐味が堪能できる曲です。野村万作の至芸をお楽しみ下さい。

蝸牛 (かぎゅう)

修行を終えて帰る途中の山伏が竹やぶで休んでいると、主人の命で、長寿の薬になるといふ蝸牛（かたつむり）を捕りに太郎冠者がやってくる。太郎冠者が山伏を蝸牛だと思い込み声をかけると、面白がった山伏は蝸牛になりすまして太郎冠者をからかう。さらに山伏は、囃子言葉に浮かれてなら同行しようと、太郎冠者にかたつむりの囃子言葉を教え…。

観ていると心も体もうきうきとしてくる楽しい作品です。「でんでんむしむし」という囃子言葉が何回も出てきますので、登場人物と一緒に浮かれてみてはいかがでしょうか。

チケット発売 1月15日(土)〔全席指定〕

S席4000円 前売大人/2500円 当日/3000円 高校生まで/1500円

★未就学児入場不可 ★保育(1歳半～未就学児)あり 700円 定員15名・要予約

チケット
発売

1月15日(土) ゆとりぎ窓口 午前9時より

1月16日(日) ゆとりぎ 電話予約受付開始 042-570-0707

羽村市スポーツセンター 042-555-0033

マルフジ青梅・羽村・福生市内各店

1月17日(月) 西多摩新聞チケットサービス 0120-61-3737

羽村市生涯学習センター ゆとりぎ

